ウズウズカレッジプログラマーコース

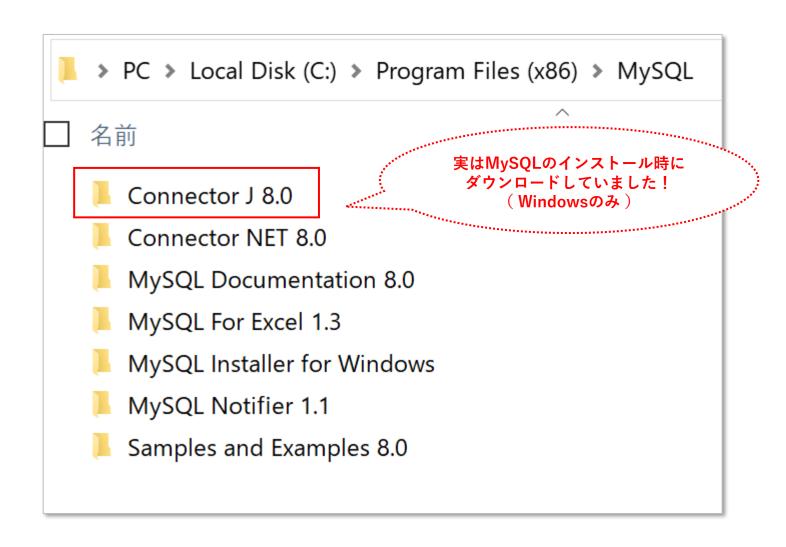
JDBCの環境設定

≪JDBCの環境設定≫

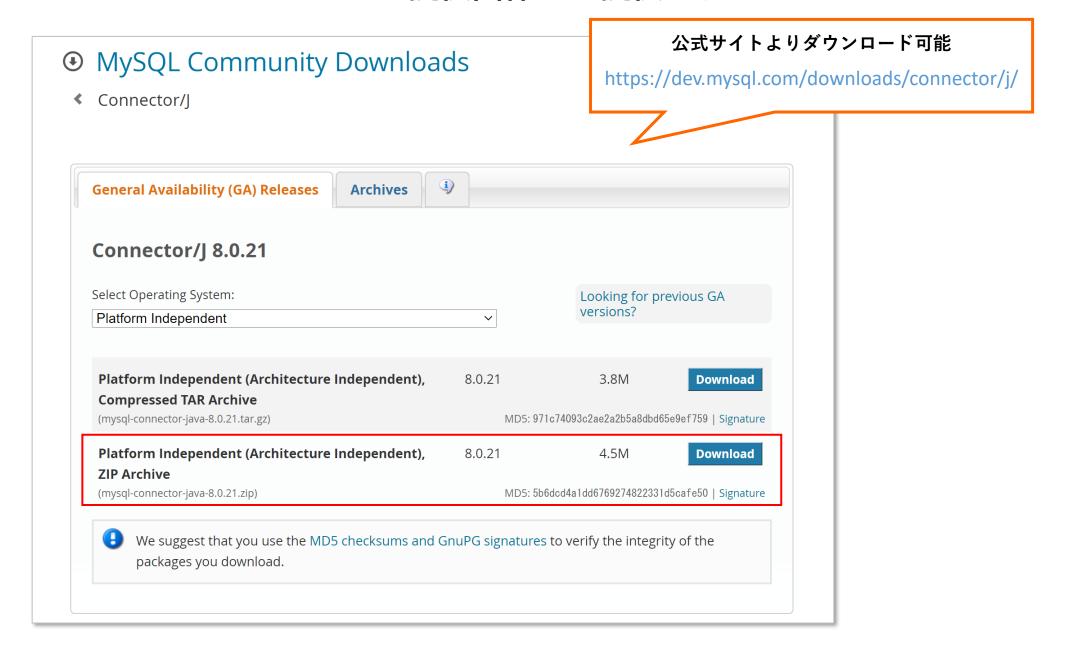
以下の手順でJavaプログラムからデータベースにアクセスする環境を設定していきます。

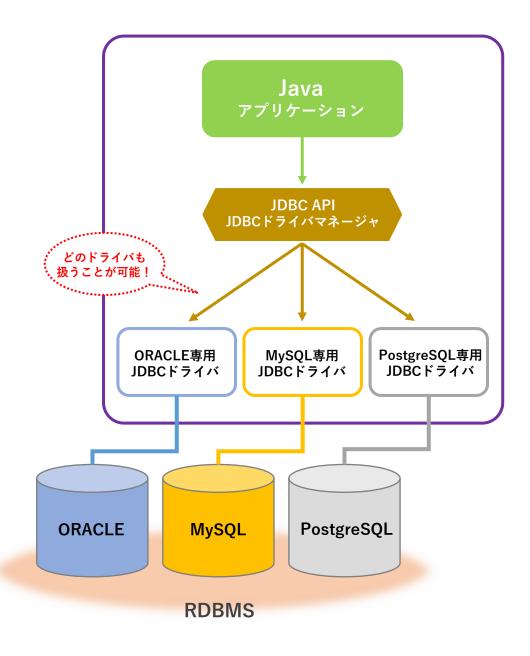
- ① JDBCドライバの入手
- ② JDBCドライバのパス確認
- ③ (eclipse上で)
 JDBCドライバのパスをビルドパスとして設定

~JDBCドライバはRDBMSの提供団体から提供されている!~



~JDBCドライバはRDBMSの提供団体から提供されている!~





≪JDBC≫



- □JDBC(Java Database Connectivity)はRDBMSにアクセスするために 用意されたJavaのAPIです。後述のJDBCドライバマネージャ・JDBC ドライバと組み合わせることでほぼすべてのRDBMSにアクセスすること が可能になります。 java.sqlパッケージにまとめられています。
- □**JDBCドライバマネージャ**はRDBMSに接続する際の中核となる モジュールで、 RDBMSに接続するための共通的な機能を持ちます。
- □JDBCドライバはRDBMSに接続するためのJava製のモジュールで、RDBMSに依存した機能を持ちます。 各RDBMS別に運営団体から配布されており、JDBCドライバを切り替えるだけで簡単に接続先RDBMSを切り替えることができます。 JDBCドライバはJavaのプログラムであるため動作させるためには CLASSPATHを設定しなければなりません。
- □ Java側はJDBCドライバマネージャ、RDBMS側はJDBCドライバと役割 分担して管理されるため、DBMSを切り替える際も影響を最小限にする ことが可能です。
- □JDBC APIでは**JDBCドライバ**を用いて以下の機能が提供されています。
 - ① RDBMSとの接続の確立
 - ② SQLの送信
 - ③ SOL実行結果の処理
 - ④ RDBMSとの接続の解除

